

令和 2 年度 事業報告



【事業報告の見かた】

= 財源 令和2年度決算 [令和元年度決算]

<各事業>

I 子育て・青少年の育成支援

1 子ども・青少年分野の取組の推進（児童福祉分科会、地域福祉保健計画事業）

（1）子育て支援機関・団体との連携

区、地区単位の子育てネットワーク会議、研修会に参加し、区役所、都筑区子育て支援センター「Popola(ポポラ)」や、区内の子育て支援機関・団体等との連携に努めました。

2 子育てサークル等への支援（善意銀行助成金）

善意銀行 30千円[60千円]

区内の子育てを支援するため、子育てサークル等、子育て関係機関・団体に対し、善意銀行から助成を行いました。

	令和2年度	令和元年度
団体数	3団体	6団体
助成金額	30,000円	60,000円

※内訳は資料1（31ページ）参照

II 高齢者・障害児者の支援

1 あんしんセンター事業（重点3）

市社協委託料・利用収入 356千円 [488千円]

自身で金銭や大切な書類を管理することに不安のある、高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるよう、権利擁護や成年後見制度に関する相談を受けるとともに、契約に基づく福祉サービスの利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、預金通帳など財産関係書類等預かりサービスを実施しました。また、成年後見制度や権利擁護事業の理解促進に努めました。

コロナウイルス感染症の影響により施設は面会禁止等の措置が取られましたが、施設職員等を通じて本人状況等を聞き取り支援しました。

（1）権利擁護に関する相談支援

生活や金銭管理、成年後見制度など幅広く権利擁護に関する相談を受け、高齢者や障害者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援しました。

	令和2年度	令和元年度
初回相談	32件	36件
継続相談・活動	2,796件	2,482件

（2）権利擁護事業の契約によるサービス提供

契約に基づき、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などが困難な、高齢者や障害者の生活を支援しました。

	令和2年度	令和元年度
定期訪問・金銭管理サービス契約者	53名（うち終了10名）	52名（うち終了7名）
預金通帳など財産預かりサービス契約者	19名（うち終了3名）	18名（うち終了1名）
成年後見制度移行契約者	3名（うち区長申立2名）	—

（3）権利擁護事業や成年後見制度の理解促進

権利擁護事業や成年後見制度の理解促進のため、区役所、地域ケアプラザ、障害者地域作業所等と連携し、事業の周知・啓発を行いました。

日 時	場 所	事 業 名	内 容
11月11日（水） 9：45～12：00	都筑区役所 多目的研修室	新人ケアマネジャー研修	権利擁護事業（あんしんセンター）について説明

（4）成年後見サポートネットの実施

成年後見制度がより円滑に活用されるよう、区役所とともに協働で事務局を担い、地域包括支援センターとの連携により、専門職後見人や市民後見人バンク登録者も参加した事例検討を実施し、成年後見制度の課題を共有しました（年4回）。なお、第3回及び分科会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

	日 時	内 容
第1回 9月16日（水）	【第一部】 専門職会議 15：00～15：45	・区域の権利擁護の相談分析と課題の検討 ・区域の相談件数や相談内容の把握により、利用促進に向けた広報。啓発等について検討
	【第二部】 全体会 16：00～17：00	・区長申し立て（令和元年度）の傾向について ・ミニ講座「よこはま成年後見推進センター」について
第2回 12月16日（水）	【第一部】 専門職会議 15：00～15：45	・権利擁護相談に関するアンケートについて ・支援困難ケースの相談対応について
	【第二部】 全体会 16：00～17：00	・事例を通して考える「意思決定支援について」 グループワーク
分科会	2月12日（金） 15：00～17：00	・市民後見サポートネット ・市民後見人支援のための事例検討

※開催場所：都筑区役所又はかけはし都筑

（5）実施体制の強化

カンファレンスを月1回実施し、ケース検討やモニタリングを行うとともに、職員のスキルアップを図りました。検討に際しては、契約者への直接支援に加え、地域での支援や区役所、地域包括支援センター等との連携の視点を持って検討を行いました。

また、他機関と連携し、横浜市社会福祉協議会で実施している市民後見人バンク登録者への継続的な支援に取り組みました。

2 外出支援・送迎サービス事業

市社協委託料・利用料収入 4,320千円[4,763千円]

一般の公共交通機関（タクシーを含む）を単独で利用することが困難な高齢者や障害者等を対象に、ボランティアの運転による専用の送迎車で、医療機関への通院や社会参加のための外出の送迎を行いました。

また、運転ボランティアに対して研修会や交流会を開催し、安全な運行管理に努めました。

(1) 外出支援サービス、区社協送迎サービス事業の実施

昨年度に引き続き実施要綱に基づいた適正な事業実施に努めました。利用件数は、送迎ボランティアの定年制の導入や、コロナウイルス感染症の影響により減少しました。

	令和2年度	令和元年度
外出支援サービス利用件数 (市委託事業)	265件 (高齢者 253件) (難病患者 12件)	805件 (高齢者 780件) (難病患者 25件)
区社協送迎サービス利用件数	350件	711件
合計	615件	1,516件

(2) 送迎ボランティア交流会・研修会の実施

送迎ボランティア同士の交流・情報交換、技術や安全の向上を目的とした研修会を実施しました。

	日時	内容
第1回	12月16日(水) 10:00~13:30	・運転適性検査 ・安全運転研修(座学) ・ボランティア交流会

3 高齢者支援事業(重点2)(高齢福祉分科会 地域福祉保健計画事業)

高齢福祉分科会を中心として、第3期地域福祉保健計画の取組を推進するとともに、区や各地域ケアプラザとの連携により、次の活動を行いました。

(1) 地域ケア会議等への参画

各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議への参加を通し、課題の共有を行うとともに、区社協、地区社協活動の連携により解決に向けた取組を進めました。

(2) 区役所、地域ケアプラザ、介護保険事業所等関係機関の連絡会への参加

区・各地域ケアプラザ、関係機関が開催する各種会議等への参加を通じて、課題の共有を図るとともに、解決に向けた取組を進めました。

(3) 認知症高齢者への支援

認知症サポート連絡会や認知症カフェ連絡会へ協力し、認知症の方やその家族、地域住民等が、気軽に集える「サロン」や「カフェ」の活動を支援しました。

4 障害児・者支援事業（重点2）（障害福祉分科会 地域福祉保健計画事業）

（1）障害福祉分科会の開催

共同募金 0千円[142千円]

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面により障害福祉分科会を開催し、次期役員、評議員、各種委員等の候補者を選出しました。

善意銀行 66千円 [268千円]

（2）～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ（実行委員会形式）

障害者の社会参加・意識の向上を図るとともに、地域で暮らす人々が、障害の有無に関わらずふれあうことを通じ、福祉のこころを育むことを目的に、各種団体と連携し様々な啓発活動を行いました。

①いもほり

J A横浜東方支店およびJ A横浜青壮年部都田支部の協力により障害福祉関係者を対象にいもほりを企画しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため収穫イベントは開催できませんでしたが、段ボール箱62箱分のさつまいもを区内26の障害福祉団体や施設、こども食堂などに配布しました。

日時	場所	参加者数	内容
5月23日（土）	J A横浜きた	-	さつまいもの苗植え
10月18日（日）	総合センター農地	-	さつまいもの収穫

②障害者と地域の共生フェスタ

「障害者週間」（12月3日～9日）を中心に障害者の社会参加と障害福祉への理解向上を目的に各種団体と連携し啓発活動を行いました。

日付 会場	12月5日（土）～12月9日（水）／ 区役所区民ホール
内容	「障害者と地域の共生フェスタ」の一環として、区役所区民ホールにてフォトグラファー後藤京子氏による「障がいのある子とご家族の幸せオーラ写真展」と障害福祉団体の活動を紹介する「障害者週間キャンペーンパネル展」を開催。

③講演会「パラスポーツを通じて知る障害者と地域の共生社会の実現について」

障害福祉への理解促進を目的に、都筑区役所地域振興課がパラスポーツアスリートの田口亜紀氏を講師に招き開催した講演会を、都筑区「福祉農園」実行委員会として後援しました。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下での開催であったため、YouTubeによるLive配信で実施しました。

開催日時：令和3年3月6日（土）10:00～11:00

（3）学齢障害児余暇支援事業

地域ケアプラザを中心に実施された障害児余暇支援活動に協力し、地域福祉関係者と障害児世帯との関係づくりを進めました。

①くずがやゆめひろばの開催支援

葛が谷地域ケアプラザエリアの学齢障害児余暇支援事業である「くずがやゆめひろば」実行委員会に参画しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため子ども達への余暇活動は実施せず、障害児の親とその居住エリアを担当する民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会役員との勉強会を企画し、障害児世帯と地域住民の関係づくりを行いました。

日時	場所	参加者	内容
2月4日(木) 10:00~12:00 (コロナウイルスのため中止)	葛が谷ケアプラザ 多目的ホール	・実行委員会事務局 ・地区社協事務局長	「コロナ禍における障害児世帯の状況について」 講師：関水 実

※くずがやゆめひろば実行委員会：横浜市葛が谷地域ケアプラザエリアの5地区社会福祉協議会、地域訓練会等

(4) 各種連絡会への運営・参加協力

①区域の連絡会に参加し障害児者支援について連携を図りました。

- ・都筑区自立支援協議会(事務局)
- ・都筑区障害児・者団体連絡協議会(障連協)
- ・地域活動支援センター・地域作業所ネットワーク「てつなぎつづき」など

②各種運営委員会への参加協力

地域活動ホーム、地域活動支援センター、障害者グループホームの運営委員として参加協力しました。

クラブハウスすてっぷなな／ごぼうハウス都筑／つづき地域活動ホームくさぶえ／都筑区生活支援センターこころ野／都筑ハーベストの会／ハイツ都筑／横浜市北部地域療育センター

5 移動情報センター事業

市社協委託費、市補助金 8,614千円[8,818千円]

移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、各サービス事業者等の情報提供や紹介を行いました。また、横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティア、支援対象者の登録事務を行いました。相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。

(1) 障害のある方の外出相談窓口(移動情報センター事業)

障害者等からの移動に関する相談に対して、支援制度の案内や福祉サービスなどの紹介等、コーディネートを行いました。

ア 移動に関する情報のコーディネート件数

		令和2年度	令和元年度
連絡調整・活動件数		1,232件	1,730件
実相談数		81件	152件
障害種別	身体	7件	22件
	知的	38件	65件
	精神	6件	13件
	複数	3件	3件
	その他	27件	49件

イ 区役所等関係機関との連携（通年）

（ア）移動推進会議の開催

障害者の家族、つづき地域活動ホームくさぶえ等、障害者支援機関をメンバーとする移動推進会議を開催し、センターの運営状況について情報共有を行うとともに、推進方法等について検討しました。（委員数 12 名、オブザーバー 2 団体）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月および3月は資料送付および書面による意見集約を実施しました。

日 時 会 場	参加 者数	議 題
6月24日（水） （書面開催）	12 名	・令和元年度事業実績報告について ・令和2年度事業計画について
10月30日（金） 10：00～12：00	12 名	・令和2年度第1・2四半期実施状況について ・相談内容について
3月13日（金） （書面開催）	14 名	・令和2年度第3四半期実施状況について ・令和3年度事業計画（案）

（イ）障害福祉サービス事業所等との連携

相談に合わせて移動支援関連事業を行う事業所の状況を随時把握し、コーディネートに活かしました。また、自立支援協議会 居宅・移動部会に参加し連携に努めました。

- 福祉有償運送事業所・タクシー会社等へのヒアリング（7～8月） 12事業所
- 移動支援事業所へのアンケート調査（9月）依頼数：33件 回答数：24事業所
- 自立支援協議会居宅・移動部会への参加（全体会1回）
- 事業所情報の収集 電話等による情報収集を随時実施。

ウ 事業 PR 活動について

（ア）関係機関会議等への出席

ニーズの掘り起こしに向けて、地域及び学校関係の会議に参加し、移動情報センターの周知を行いました。

日 時	会議名	方法	配布数
9月15日（水）	都筑区民生委員児童委員協議会	会議参加	175
10月13日（火）	都筑区小学校学校長会	資料提出	45
10月16日（金）	都筑区中学校学校長会	資料提出	25
11月5日（木）	都筑区中学校専任会	会議参加	25
11月5日（木）	都筑区小学校専任会	会議参加	45
12月9日（水）	都筑区中学校特別支援教育研究会	会議参加	25
12月16日（水）	都筑区小学校特別支援教育研究会	会議参加	45

（イ）移動情報センター通信の発行

事業の周知を通してニーズの発掘や支援者の確保を行うことを目的に、以下の広報活動を実施しました。

○移動情報センター通信の発行

	発行日	発行数	主な配布先
移動情報 センター通信 臨時号	6月3日	102部	都筑区ふれあい助成金の受配決定団体
移動情報 センター通信 Vol.5	9月16日	1,000部	区内小中学校、近隣区の特別支援学校・福祉系の学校、地区センター、地域ケアプラザ等関係機関、ボランティアセンター登録者など

○都筑区社協広報「しゅんらん」56号にガイドボランティア活動掲載（3月7,000部発行）

○ホームページの見直し（12月）

都筑区社協ホームページの移動情報センターのページについて、支援を希望する方や支援活動を希望する方が必要な情報にアクセスしやすいように見直しました。

併せて、支援活動者確保を目的に、移動支援事業所の求人情報の掲載を始めました。

○移動情報センター通信（メール版）の配信

最新のニーズ情報等を効率的に事業所へ伝えていくために、12月より移動情報センター通信（メール版）の配信を開始しました。配信実績：2回 のべ26通。

（2）ガイドボランティア事業

ア ガイドボランティア事業の推進

横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティア及び支援対象者の登録事務を行いました。活動件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。

	令和2年度	令和元年度
ガイドボランティア登録人数	38名	40人
支援対象者登録人数	35名	45人
ガイドボランティア活動回数	406件	839件

イ ガイドボランティアの育成・支援

（ア）活動への参加呼びかけ

ボランティアセンター登録者へ移動情報センター通信を送付し、活動への参加を呼びかけました。また、ボランティアセンターと合同でメールマガジンを月1回配信し、活動への参加を募りました。（のべ7,086通配信）

（イ）ガイドボランティア養成講座の開催

障害への理解を深め、ガイドボランティア活動への参加者を育成・支援することを目的に、養成講座を開催しました。

日時	参加者数	講座名 / 内容	会場 共催等
10月23日（金） 10:00～12:00	27名	「発達障害・知的障害ってなんだろう？」 内容：発達障害・知的障害の特性と支援について／ボランティア活動案内	かけはし都筑

Ⅲ 地域福祉推進の基盤づくり

1 ボランティア活動の推進（重点4）

区委託費、賛助会費 1,961千円 [2,028千円]

（1）ボランティアセンターの運営

ア ボランティアセンター運営委員会

ボランティアや地域の方々の意見を反映したボランティアセンターの運営を行うため、運営委員会を開催し、センターの運営方法や事業の方向性等を協議しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面にて開催しました。（年2回）

日時	参加者数	主な議題	結果
7月31日(金) (書面開催)	13名	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度都筑区社協ボランティアセンター事業計画及び進捗状況について 令和元年度善意銀行寄託金品配分状況 令和2年度第1回「善意銀行配分金」配分(案) 善意銀行配分要綱の改正(案) 	承認
令和3年 2月18日(木) (書面開催)	11名	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度都筑区社協ボランティアセンター事業進捗状況 令和3年度都筑区社協ボランティアセンター事業計画(案) 令和2年度都筑区善意銀行寄託金品受託状況 令和2年度第2回「善意銀行配分金」配分(案) 	承認

イ ボランティア相談及び調整事業

ボランティアに関する様々な相談を受け、調整を行いました。調整は感染防止対策に配慮しながら行いました。相談や活動件数は減少しましたが、在宅ワーク等の導入を反映してか社会人や学生のボランティア登録がありました。

また、地域ケアプラザ等の関係機関と連携したコーディネートを意識し、ニーズに即した対応に努めるとともに、ボランティアでは対応が困難な相談や地域での支援の必要性が高いものについては、関係機関や地域組織等に協力を要請し対応しました。

○ボランティア相談

		令和2年度	令和元年度
ボランティア関係相談		1,584件	2,885件
ボランティア 新規登録数	個人登録	43名(総計339名)	82名(総計340名)
	団体登録	1団体/15名 (総計124団体/2,266名)	6団体/53名 (総計165団体/3,641名)
ボランティア依頼 ボランティア活動希望 調整数	依頼件数	168件 (単発61、継続107)	190件 (単発83、継続107)
	調整数 ※1	1,265回	2,120回
	ボランティア 派遣人数	78名	336名
	ボランティア 調整率 ※2	75.9%	86.8%

※1 調整数は単発・継続をあわせた調整数です。

※2 ボランティア調整率には依頼取り下げ件数は含んでいません。

○その他相談

		令和2年度	令和元年度
機材貸出	高齢者擬似体験セット	3件	14件
	白杖	3件	7件
	アイマスク	0件	5件
	点字器	1件	4件
各種ボランティア 保険の加入受付	ボランティア活動保険	161件	280件
	ボランティア行事用保険	179件	310件
	在宅福祉サービス総合補償	10件	14件
	送迎サービス補償制度	2件	2件

※接触による感染防止のため、アイマスク及び視覚障害ゴーグル（高齢者疑似体験セット含の一部）は貸出を停止しました。

ウ 登録ボランティアの活動支援及び状況把握

単発の活動に関しては活動終了後、継続の活動については活動開始後3カ月をめどにフォローアップの連絡を入れ、活動状況や課題の把握に努めました。また、登録または更新後3年を経過した個人登録ボランティアについては登録更新及び活動現況やボランティアセンターへの要望などのアンケートを実施しました。（対象77名/回答：51名（うち更新有：29））

エ 各種ボランティア講座の開催・協力等

ボランティア活動に参加するきっかけづくりのため、また既に活動している方のフォローアップ及び必要な知識・スキルを得られることを目的に、関係機関と連携してボランティア講座を行いました。

(ア) 主催講座での広報啓発

日時	参加者数	講座名 / 内容	共催等
10月23日（金） 10:00～12:00	27名	「発達障害・知的障害ってなんだろう？」 内容：発達障害・知的障害の特性と支援について／ボランティア活動案内（再掲）	移動情報センター
令和3年 1月29日（金） ※緊急事態宣言発令に伴い中止	—	ボランティアサロン（第1回） 内容：ボランティアの体験談を聞こう（認知症&予防カフェ・ガイドボランティア・高齢者施設ボランティア）／参加者懇談／ボランティアセンター案内	ボランティア・市民活動団体等分科会

(イ) 関係機関等の講座、会議等での広報・啓発

日時	参加人数	講座名／内容	主催団体
1月5日（火） 2月9日（火） 3月9日（火） 15:30～16:00	延べ 32名	内容：ボランティアについて （生活支援ボランティアグループ会議での講座）	グッドネイバーズ 倶楽部 おたがいさまの会

オ ボランティア交流事業

例年は、ボランティア団体同士が横のつながりを持つことで悩みや課題・その解決策を共有し、より円滑な活動につなげるとともに、活動に必要なスキル習得を目的に、ボランティア・市民活動等分科会等で方向性を検討の上、団体交流会を開催していました。

今年度は、開催規模を縮小し、ボランティア・市民活動等分科会加盟団体のみを対象に、交流会を実施しました。

日 時	参加者数	内容
11月18日(水) 10:00~11:30	9名 (7団体)	テーマ:「新たなボランティアのあり方とは?~コロナをきっかけに考える『やりたいこと』~」 対 象: ボランティア・市民活動等分科会加盟団体 内 容: (公財)ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野 氏

カ 登録ボランティア団体の活動支援及び状況把握

ボランティア登録団体を対象に、登録更新を実施しました。また、ボランティア活動希望者及び依頼者への団体情報紹介を目的に、新たにボランティアグループ紹介カードを作成し、協力を依頼しました。

対象: 163 団体 回答(更新): 124 団体

キ ボランティア広報啓発事業

多くの方にボランティア情報を届け活動につなげることを目的に、広報の発行やホームページの運営等を行いました。

実施方法	発行頻度	内 容	発行部数等
ボランティア情報「ボランティアどっと来い!都筑」の発行	2回 /年	ボランティア募集情報、講座情報、助成金情報、ボランティア保険情報など	のべ 4,000部
メールマガジンの発行	12回 /年	ボランティア募集情報、講座情報、助成金情報、ボランティア保険情報など	のべ 7,096部
ホームページによるボランティア情報の提供	随時	ボランティア募集情報、講座情報、助成金情報、ボランティア保険情報など	アクセス数 52,008件
福祉保健活動拠点内ボランティア情報コーナーの設置・運営	随時	ボランティア募集情報、講座情報、助成金情報、ボランティア保険情報など	-
パネル展示	2回	ボランティアセンター案内及びボランティア・市民活動分科会参加グループの活動紹介パネルを展示 第1回: 都筑地区センター 8月1日(土)~31日(月) 第2回: つづきあいフォーラム 2月18日(木)~24日(水)	-

2 災害ボランティアセンター設置体制の整備

市社協補助金、賛助会費 32千円 [30千円]

(1) 災害ボランティアセンターの体制整備

発災時に迅速に都筑区災害ボランティアセンターの開設を行えるよう、都筑区災害ボランティアネットワークと協働し、運営委員会及び定例会議の開催、並びにシミュレーション訓練を実施しました。また、新規災害ボランティアコーディネーターの養成のため、各種啓発事業の開催についても協働して実施しました。

ア 都筑区災害ボランティアネットワーク運営委員会及び定例会

(ア) 運営委員会：6回/年 (イ) 定例会議：3回/年

イ ブロック会議の開催（Dブロック 港北・緑・青葉・都筑）

災害時に近隣区で助け合うことができるよう、平常時からの情報交換や研修を目的としてブロック会議の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言のため中止しました。

【予定されていたもの】

第1回（都筑区社会福祉協議会担当）

日時：2月2日（火）10：00～11：30

場所：横浜市都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」

内容：①近年の被災地での復興支援活動における災害ボランティアセンターの運営状況について

講師 神奈川県共同募金会 事務局長

②意見交換会

ウ その他の活動

(ア) つづき防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）

日時：11月14日（土）14：00～16：00

場所：かけはし都筑

内容：活動報告 被災地から学ぶ災害対策～長野市ボランティアセンターでの活動経験から～

講演 ペットのための災害への備え ～普段から準備すること～（展示あり）

講演 都筑区の防災・減災の取り組み

講師 都筑区役所職員 他

(イ) つづき防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）

日時：2月23日（火・祝）14：00～15：30

場所：かけはし都筑

内容：講演 都市型風水害での災害ボランティア活動について ～台風19号災害での活動事例から～

講師 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

ボランティア活動振興センター 所長 塚田 治孝 様

(ウ) 地域防災拠点運営委員会と災害ボランティアセンターの連携訓練（書面開催）

災害時に効果的な連携が取れるよう、地域防災拠点運営委員と災害ボランティアコーディネーターが協働で、情報伝達訓練等のシミュレーション訓練に協力しました。

対象者：拠点運営委員・災害ボランティアコーディネーター

3 善意銀行の運営

区民の方々から寄せられた善意の寄付を、地域福祉の活性化のために福祉活動団体や障害者団体等に配分しました。配分は公募により実施しました。コロナウイルス感染症の影響により、マスクや手指消毒液等の物品が例年以上に寄せられました。

物品預託	19 件		物品配分	193 団体		
収入			支出			
前年度繰越金	3,062,808 円	31 件	都筑区ふれあい助成金への配分	435,000 円		
2年度預託金	1,733,213 円		第1回配分	960,256 円		30 件
利息・他	27 円		第2回配分	324,700 円		4 件
		振込手数料	10,340 円			
		次年度への繰越金	3,065,752 円			
合計	4,796,048 円		合計	4,796,048 円		

※内訳は資料1（30ページ）参照

4 都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」の運営

区受託金、賛助会費、利用料 17,473 千円 [16,556 千円]

福祉保健活動拠点指定管理者として、ボランティアに関する相談及び育成、個人・団体の地域福祉保健活動への参加及び連携に関する支援、施設の利用調整及び保守管理業務を行いました。また、拠点が地域住民の自主的な福祉活動・保健活動の中核となるよう利用を促進しました。

なお、令和2年2月29日(土)から5月31日(日)までは、コロナウイルス感染拡大防止のため休館措置がとられ、諸室の貸出も中止しました。

(1) 利用登録団体数

団体種別	令和2年度	令和元年度
ボランティアグループ	23 団体	23 団体
当事者団体グループ	30 団体	30 団体
福祉保健活動団体	40 団体	39 団体
その他市民活動団体	44 団体	43 団体
合 計	137 団体	135 団体

(2) 部屋別利用件数

部屋名	令和2年度	令和元年度
団体交流室	396 件	671 件
多目的研修室	211 件	511 件
点字製作室	39 件	140 件
録音室	23 件	48 件
対面朗読室・編集室	59 件	225 件
合 計	728 件	1,595 件

※福祉保健活動拠点の利用状況を WEB 上で情報を公開しました。(原則毎日更新)

ご利用いただきました。ありがとうございました。



(3) 相談件数

相談内容	令和2年度	令和元年度
拠点の施設・設備利用関係	1,998 件	2,611 件
ボランティア関係	1,584 件	2,885 件
合 計	3,582 件	5,496 件

(4) 拠点利用団体交流会の開催

コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。

(5) 福祉保健活動拠点情報紙「かけはし都筑インフォメーション」の発行

発行頻度	1 回/年	発行部数	各 2,000 部
主な内容	拠点利用紹介、各種連絡事項、半年先予約開始日		

(6) 次期指定管理者選定

令和3年4月から令和8年3月までの五カ年間の指定管理者に申請し、選定されました。

5 地域への福祉啓発推進のための事業

共同募金配分金・正会費 427千円 [550千円]

(1) 広報紙「しゅんらん」の発行

区民に向けた福祉啓発・理解を深めるため、広報紙「しゅんらん」を発行し、区社協活動や地区社協活動、共同募金など、都筑区内で行われている福祉活動の情報提供を行いました。

発行回数	年3回	広告掲載	無
発行部数	54号 38,700部 (タウンニュース 半面) 55号 38,700部 (タウンニュース 全面) 56号 7,000部 (A3両面二つ折り 公共施設への配架依頼等)		
内容	54号 (令和2年7月発行) 主な内容: 善意銀行寄付(マスク等)の紹介、賛助会費のお知らせ、令和元年度決算概要・令和3年度事業計画 55号 (令和2年10月発行) 主な内容: 共同募金への協力御礼、地区社協活動紹介(茅ヶ崎南MGCRS、池辺)、ふれあい助成金受配団体の活動紹介、福祉保健活動拠点およびボランティアセンターの案内 56号 (令和3年3月発行) 主な内容: コロナ禍での地域活動、地区社協活動紹介(かちだ、新栄早淵、都田、佐江戸加賀原)、共同募金の報告と御礼、ボランティア活動紹介、善意銀行寄付者紹介 など		

(2) 区社協ホームページの運営

地域の活動など福祉に関する情報をより多くの方々に届けることを目的に、ホームページを定期的に更新し、タイムリーな情報提供を行いました。

○ホームページアドレス <http://www.tuzuki-shakyo.jp/>

更新回数	65回	広告掲載	無
掲載内容	各種事業の紹介及びボランティア・地域活動の情報等		
更新内容	ボランティア情報、助成金情報、地区社協活動、かけはし都筑の利用方法の変更、生活福祉資金特例貸付について等		
アクセス数	52,008件、平均142件/日 (令和元年度: 52,299件、平均143件/日)		

(3) つづき あいフォーラムの開催 (都筑区社会福祉大会)

2月20日(土)に開催を予定していた“つづきあいフォーラム”は、緊急事態宣言期間中のため、次年度の5月23日(日)に延期となり、社会福祉関係者・団体顕彰のみ実施します。

IV 地域福祉推進のための支援事業

1 「身近な地域のつながり・支えあい活動」の推進 (重点1)

(1) 住民活動による課題解決のための仕組みづくり

市社協補助金 231千円 [300千円]

個々のニーズや困りごとを地域が主体的に把握し、「身近な地域住民による助けあい活動」や「サロン活動」等を通じて、課題解決のための仕組みづくりを継続して取り組みました。

(ア) 地区社協合同情報交換会の開催

希望するテーマごとに、地区社協の役員が3～4地区ごとに集まり、意見交換や情報交換を行いました。他地区の活動の工夫や課題を知ることで、自分達の活動の振り返りや新たな取り組みへのきっかけとなることを目的としました。

(イ) 地区社協のてびきを参考とした取組

改定された横浜市社会福祉協議会の「地区社協のてびき」を活用した、地区社協関係者及びケアプラザ員等を対象とした研修を開催し、住民及び支援機関が一体となった、困りごとへの対応について検討しました。

○職員向け研修

開催日	テーマ	講師	参加者数
12月15日(火)	データを活用した地域アセスメント研修	横浜市政策局政策課 データ活用推進等 担当係長 林 正貴氏	22名

(ウ) 地区支援会議の開催

区支援を行う職員のスキルアップを目指し、地区支援を行う中で、課題と感じていることを職員間で共有、検討する会議を年間5回実施しました。

(2) 生活困窮者支援

区役所等関係機関や、生活福祉資金の貸付相談業務等を通じて寄せられた生活困窮者の相談に対して、フードバンクかながわや株式会社 IKEA、都筑区民、横浜市資源循環局等から提供された食品を食料支援として提供しました。また、ひとり親等世帯への食料支援を実施し、33件の申し込みがあり、一世帯5日分程度の食料を支援しました。

○食料支援対応数

	令和2年度	令和元年度
相談数	64件	24件
食品提供数	64件	24件

2 生活支援体制整備事業の推進(重点1)

市社協委託費 200千円 [200千円]

高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けられるために多様な主体が連携・協力する地域づくり(地域包括ケアシステム)の構築を目指し取組を進めました。

特に地域ケアプラザとの一体的な連携体制で、これまでの地域福祉推進の実践を活かし、地域状況の把握や社会資源の開発を始めとした生活支援・介護予防の充実した地域づくりの取組を進めました。

(1) 第1層(区域)の取組

区役所・地域ケアプラザと事業推進のための区推進会議の開催(7回。うち4回は書面開催)

- ・介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の団体支援及び情報共有
- ・移動支援や買い物支援、多様な主体による地域支援の検討、取組紹介
- ・ケアマネ連絡会、生活支援団体連絡会(3月に実施予定でしたが、コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に延期となりました。)

(2) 第2層（ケアプラザ圏域）の支援

- ア コーディネーター連絡会の開催（毎月開催／全10回 ※4～5月は書面開催）
地域活動交流と第2層生活支援コーディネーターの合同開催
- イ 地域アセスメント研修会の開催（1回）
12月15日（火） 講師：横浜市政策局政策課 データ活用推進等担当係長 林正貴氏
- ウ 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）の活動支援（2団体）

(3) Webでの情報発信（情報公開）に向けた、モデル区としての取組

令和2年度は、例年発行しているインフォーマルサービスリスト作成を休止し、データサービスシステムAyamu活用のモデル区として、情報の一般公開に向け、準備や確認作業をしてきました。公開予定日は令和3年3月の予定でしたが、緊急事態宣言期間中であることから、令和3年5月に延期となりました。

3 地域ケアプラザとの連携強化（重点2）

本会と各地域ケアプラザが、個別の課題を抱えた要援護者等への支援や地域づくりに一体的に取り組むため、各種連絡会、会議等への参加などを通じて、相互の連携強化を図りました。

- ア コーディネーター連絡会の開催（毎月 ※4～5月は書面開催）
- イ 所長会議への参加（毎月）
- ウ 運営協議会や地域支え合い連絡会に参加（随時）
- エ 地域包括支援センター・区社協・区連絡会に参加（随時）
- オ 地域包括支援センター職種別分科会に参加（随時）
- カ 各地域ケアプラザの圏域カンファレンスに参加（随時）
- キ 各地域ケアプラザ及び区が主催する地域ケア会議に参加（随時）
- ク 地域ケアプラザなどのイベント・研修会に参加協力（随時）

4 都筑区ふれあい助成金などを通じた福祉保健活動への支援（重点1）

共同募金配分金、市社協補助金 6,721千円 [8,749千円]

ボランティア活動団体、市民活動団体、障害者団体が継続的な活動が行えるよう、団体が行う事業に対して助成を行うとともに、各団体の活動状況を把握し継続的に支援しました。

なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け活動を休止する団体もあり、活動内容の変更や助成金の使いみち・返還に関する問合せが数多くあり、個別対応のほか、12月には全団体に案内を送付するなどの対応をしました。

(1) 都筑区ふれあい助成金の実施

	令和2年度	令和元年度
申請団体	102 団体	114 団体
配分団体	84 団体	113 団体
辞退・返還	18 団体	—
配分総額	6,605,000 円 財源内訳：市社協補助金 3,854,200 円 共同募金 2,315,800 円 善意銀行 435,000 円	8,639,000 円 財源内訳：市社協補助金 4,904,400 円 共同募金 3,269,600 円 善意銀行 465,000 円

※配分委員会の開催については26ページ、配分団体及び配分金額については資料2（37ページ）参照

5 年末たすけあい配分金事業

年末たすけあい配分金 2,296 千円 [3,186 千円]

地域福祉の推進のため、年末たすけあい募金を財源として、地区社会福祉協議会が実施する地域の要援護者等の地域見守り活動及び地域の福祉団体が年末に行う活動に助成しました。

(1) 地区社協助成（見守り訪問助成）

地区社会福祉協議会が年間を通じて実施する、要援護者等の見守り活動について、活動費の助成による支援を行いました。令和2年度に制度の見直しを行い、地区社協活動費の事業割の中に「見守りネットワーク活動」区分を設けました。

	助成区分	令和2年度	令和元年度
助成金額		1,627,000 円	2,114,957 円
内訳等	①見守り訪問活動	14 地区 1,497,000 円	15 地区 1,718,997 円
	②物品購入	1 地区 50,000 円	2 地区 65,000 円
	③人材育成	8 地区 80,000 円	8 地区 330,960 円

※1 地区社協で複数区分への助成申請が可能

(2) 団体助成

区内のボランティア団体や障害者団体、地域福祉保健団体が年末年始に実施する活動を支援しました。

	令和2年度	令和元年度
助成金額	386,474 円	1,071,000 円
助成団体数	13 団体	36 団体

※地区社協助成及び団体助成の詳細は資料3 (41 ページ) 参照

6 地区社会福祉協議会の支援（重点1）

市社協補助金 共同募金配分金、賛助会費 6,364 千円 [6,589 千円]

地区社会福祉協議会活動が円滑に進むよう、地区社協活動の支援、課題検討、活動費助成を行いました。

(1) 地区社協分科会・事務局長会議の開催

地区社協分科会及び地区社協事務局長会議を開催しました。なお、コロナウイルス感染拡大防止のため4月、5月、2月は書面開催としました。

ア 地区社協分科会（合同会議）

V-2-(1)-イ (22 ページ) 参照

イ 事務局長会議

日 時	参加人数	主な内容	結果
4月6日(火) 書面開催		区社協事業計画・収支予算／地区社協運営費・活動費／各種補助金・助成金の申請／賛助会員の募集	承認

5月19日(火) 書面開催		賛助会員の募集/地区社協研修/第4期都筑区地域福祉保健計画策定に関する対応について/各種申請書の締切延期について	承認
7月14日(火) 10:00~11:30	12名	都筑区社会福祉大会 顕彰について/地区社協検討会メンバーについて/コロナ対策グッズの申し込みについて/地区社協合同情報交換会の開催について	承認
10月13日(火) 10:00~11:45	12名	地区社協ヒアリング日程調整/地区社協合同情報交換会/地区社協活動費の取り扱いについて	承認
12月8日(火) 10:00~11:45	13名	地区社協研修の取りまとめ/つづきあいフォーラムのご協力/第4期地域福祉保健計画地区別計画の策定/年末たすけあい募金(見守り活動)助成の報告	承認
2月9日(火) (書面開催)		令和2年度賛助会員/地区社協活動費精算書の提出/研修検討委員の選出/第4期地域福祉保健計画地区別計画策定の進捗	承認

(2) 地区社協研修会の開催

地区社協役員・活動者を対象とした地区社協関係者研修を開催しました。なお、より地区社協のニーズに沿う内容とするため、地区社協、地域ケアプラザ職員へも協力を依頼しました。

ア 区社協主催研修(基礎編)

日 時	9月30日(水) 14:00~15:00
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	テーマ 「地区社協の活動について」 講師 区社協事務局長
参加人数	地区社協役員 18名

イ 区社協主催研修(発展編)

日 時	3月2日(火) 10:00~12:00
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	テーマ 「個人情報を活用した見守り活動について」 講師 田園調布学園大学 人間福祉学部 学部長・教授 村井 祐一氏
参加人数	来所15名、Zoom5名、One Drive 1名

ウ 区社協主催研修(会員研修)

日 時	12月3日(木) 10:00~12:00
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	テーマ 「with コロナ時代の地域活動の進め方」 講師 一般社団法人 横浜市都筑区医師会 副会長 小林 雅子医師
参加人数	地区社協関係者23名、民児協4名、福祉団体7名

(3) 地区社協ヒアリングの実施

各地区社協活動の状況確認や課題の共有・事業方針の検討等を行うとともに、区社協が進める地域支援のための基本方針の一助としました。

- ・実施状況：14 地区にて実施（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 1 地区は実施せず）

(4) 地区社協活動の広報・PR

地区社協の活動を広く周知するため、広報紙などを活用して情報提供を行いました。

- ア ホームページでの地区社協情報の提供
- イ 区社協広報紙での活動紹介

(5) 地区社協活動の支援

地区社会福祉協議会の活動が円滑に進むよう各種支援を行いました。

ア 地区担当職員制による支援

地区担当職員を置き、担当職員が各地区の課題解決に向けて、各種会議やイベント等への参加などを通じて地域の活動やニーズを把握し、支援を進めました。

イ 地区社協活動運営費の交付

活動費（世帯割・事業割）を交付し、地区社協活動を支援しました。

(ア) 地区社協運営費（横浜市社協補助金）

指定事業の実施により、上限 50,000 円を交付。総額 750,000 円

(イ) 地区社協活動費（世帯割）（都筑区社協補助金）

40,000 円を基礎交付額とし、これに世帯数等を加味して活動費を助成

・14 地区社協へ助成 総額 1,680,000 円

(ウ) 地区社協活動費（事業割）（都筑区社協補助金）

実施予定の事業に応じて助成

・15 地区社協へ助成 総額 860,000 円

※(ア)(イ)(ウ)の助成については資料 4 (43 ページ) 参照

ウ 賛助会費還元金の助成

集められた区社協賛助会費の 50%を地区社協へ助成し活動を支援しました。また、今年度より、事務経費として実績の 1%分を助成しました。（V-4 (25 ページ) 参照）

7 都筑区地域福祉保健計画の推進（重点 2）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができることをめざして、基本理念である『人と人との「であい ささえあい わちあい」』の実現に向けた取組を進めました。

また、第 4 期計画の策定を地域住民・区役所・地域ケアプラザと協働して策定しました。

(1) 第 3 期都筑区地域福祉保健計画の推進・第 4 期都筑区地域福祉保健計画の策定

ア 区計画推進委員会の実施

	開催日時	内 容
第 1 回	6 月 11 日（木） 13：30～15：00	・第 4 期都筑区地域福祉保健計画 原案について ・第 4 期都筑区地域福祉保健計画 地区別計画について ・（報告）令和元年度 「つづき あいフォーラム」

第2回	9月24日(木) 9:30~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期都筑区地域福祉保健計画 素案について ・令和2年度地域懇談会の開催状況について ・(報告) 令和2年度都筑区地域福祉保健計画「つづき あい基金」助成金審査結果について
第3回	12月17日(木) 9:30~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期都筑区地域福祉保健計画 素案の区民意見募集結果について ・第4期都筑区地域福祉保健計画区計画の評価指標について ・(報告) 第4期都筑区地域福祉保健計画地区別計画の策定状況等について ・(報告) 令和2年度都筑区地域福祉保健計画「つづき あい基金」助成金の運用について ・「つづき あい基金」助成内容の変更について

※開催場所：都筑区役所

ウ 地区別計画の推進

地域の実状に応じた福祉保健の課題を共有するとともに、その解決に向けて話し合うために、地域住民や地域活動団体、施設など誰でも参加可能な地域懇談会を15地区で開催し、計画の推進を図りました。(主催：各連合自治会町内会・地区社協、共催：区・ケアプラザ)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、縮小開催や既存会議に合わせて実施するなど、各地区が工夫して実施しました。

エ 「つづき あいフォーラム」(地域福祉保健計画発表会)の開催(再掲)

2月20日(土)に開催を予定していた“つづきあいフォーラム”は、緊急事態宣言期間中だったため令和3年5月23日(日)に延期し、社会福祉関係者・団体顕彰のみ実施します。

オ パネル展示

日 時	2月18日(木)~24日(水)
場 所	都筑区民ホール(都筑区総合庁舎1階)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉保健計画の取組を紹介 地域における子育てや高齢者支援、健康づくりに関する活動の紹介 区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザにおける福祉保健事業の紹介

(2) 「つづき あい基金」の運営及び活動助成

区補助金、善意銀行 192千円 [1,545千円]

都筑区チャリティーゴルフ大会の収益金等を原資とする「つづき あい基金」を設置し、地域で活動する9団体の福祉保健活動への助成や地域福祉保健計画PRに活用しました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和2年度の大会は中止となりました。

助成決定団体	助成決定額
9団体	375,000円

※詳細は資料5(44ページ)参照

(3) 分科会を中心とした分野別の計画の推進(再掲)

8 福祉教育・福祉啓発、企業の地域貢献の推進

市社協補助金 15千円 [89千円]

(1) 福祉教育・福祉啓発のための相談機能やPR活動の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、校内への外部講師の立ち入りを控えている学校や、休校に伴い通常授業に遅れがでている学校等の様々な事情から、福祉教育の実施には至りませんでした。

一方、小学校5校、中学校2校から、講師依頼は行わない福祉教育の開催方法について相談があり、福祉教育動画の紹介や福祉機材の貸出を行いました。

	令和2年度	令和元年度
対応件数	7件	10件
内 訳	小学校5校、中学校2校	小学校5件、中学校3件、その他2件

(2) はあと de ボランティアの開催

関係機関（区役所、多文化・青少年交流プラザ、都筑区青少年指導員連絡協議会）と連携し、中高生を対象としたボランティア活動のきっかけ作りとなる体験講座「はあと de ボランティア」を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小し、屋外での活動を中心に実施しました。

日 時	(1) オリエンテーション (全6回) ①7月17日(金) 13:30～、②22日(水) 13:00～、③23日(木) 9:30～、 ④23日(木) 11:00～、⑤24日(金) 9:30～、⑥24日(金) 11:00～ (2) 体験 7月25日(土)～8月15日(土) (受入施設・団体による) (3) 修了式 ①8月15日(土) 9:30～、②15日(土) 11:00～、③16日(日) 9:30～ ④16日(日) 11:00～、⑤27日(木) 13:00～
場 所	つづき MY プラザ・区役所・屋外活動場所 等
参加人数	129名 (延べ活動人数 161名)
内 容	(1) オリエンテーション 「ボランティア」をテーマに話し合い (2) 体 験 公園愛護会・ハマロードサポーター・区民利用施設 (プログラム数 12件) ※プログラム数のうち3件は、感染防止のため中止 (3) 修了式 振り返り、修了証授与
共 催	つづき MY プラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)、都筑区青少年指導員連絡協議会

V 区社協の経営・運営推進

1 理事会・評議員会・監事会の開催

地域福祉の推進を目的とする組織として、地域に根ざした活動を展開するため、会員相互の連携による組織運営を行いました。

(1) 理事会 (3回)

日 時	参加人数	主な議題等	結果
7月 決議の省略	理事 9名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none">・ 会員の承認について・ 令和2年度年末たすけあい募金の配分について・ 令和元年度事業報告及び一般会計収入支出決算(案)について・ 定時評議員会の招集について	承認
11月10日(火) 13:30~14:45	理事 9名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none">・ 監事候補者の選定について・ 評議員選任解任委員会委員の選任について・ 評議員選任解任委員会の開催について・ 評議員選任候補者の推薦について・ 社会福祉法人横浜市都筑区社会福祉協議会の顕彰規程の一部改正について・ 顕彰候補者について・ 令和2年度年末たすけあい募金事業助成配分について・ 令和2年度一般会計収入支出予算の補正について・ 評議員会の招集について	承認
3月15日(月) 15:30~16:30	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">・ 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について・ 令和2年度一般会計収入支出予算の補正について・ 令和3年度事業計画及び一般会計収入支出予算(案)について・ 役員等賠償責任保険の契約締結について・ 評議員会の招集について	承認

(2) 評議員会 (3回)

日 時	参加人数	主な議題等	結果
7月 決議の省略 【定時評議員会】	評議員 23名	<ul style="list-style-type: none">・ 令和元年度事業報告及び一般会計収入支出決算(案)について	承認
9月25日(水) 13:30~14:25	評議員 18名 監事 1名 正副会長 2名	<ul style="list-style-type: none">・ 監事の選任について・ 令和2年度一般会計収入支出予算の補正について	承認
3月26日(金) 13:30~14:35	評議員 17名 監事 2名 正副会長 2名	<ul style="list-style-type: none">・ 職員就業規程の一部改正について・ 経理規程の一部改正について・ 令和2年度収入支出予算の補正について・ 令和3年度事業計画及び収入支出予算(案)について	承認

(3) 監事会

日 時	場 所	参加人数	内 容	結果
7月9日(木) 13:30~14:30	かけはし都筑 対面朗読室	監事 3名	・令和元年度の業務執行状況、経理執行状況及び財産状況の監査	承認

2 分科会及び委員会の開催

本会会員にて組織する分科会及び委員会を開催し、会員間の情報交換、関連する課題の協議、事業推進等の協議を行いました。

(1) 分科会

ア 民生委員児童委員分科会 …区民児協会議終了後開催

日 時	参加人数	主な議題	結果
6月15日(金)	20名	・生活福祉資金 償還残額のお知らせ ・共同募金会横浜市都筑区支会委員会委員について	承認
7月14日(火)		・都筑区移動情報センター推進会議委員の選任について ・令和2年度共同募金 街頭募金へのご協力をお願い ・区社協賛助会員へのご協力をお願い ・寄付物品のマスク配布について	承認
9月14日(月)		・評議員及び顕彰委員会委員の推薦について ・令和2年度 共同募金街頭募金活動について ・寄付物品のマスク配布について	承認
10月14日(水)		・令和2年度 共同募金・街頭募金運動へのご協力お礼と報告	承認
11月13日(金)		・食料支援の実施について	承認
12月14日(金)		・生活福祉資金 民生委員活動費について ・生活福祉資金償還残額のお知らせについて	承認
2月15日(月)	10名	・任期満了に伴う、次期本会役員、評議員及び各種委員会委員の候補者の推薦について ・共同募金会都筑区支会の開催予定について	承認
3月15日(月)		・生活福祉資金 償還残額のお知らせ ・ひとり親世帯等を対象とする食支援の実施結果について	承認

※4・5月はコロナウイルス感染拡大防止ため中止。2月・3月は地区会長のみ出席

※開催場所：都筑区役所 大会議室等

イ 地区社会福祉協議会分科会

日 時	参加人数	主な議題	結果
6月9日(火) 10:00~11:45 (合同会議)	16名	・令和2年度 賛助会員募集について ・各種補助金・助成金の申請について ・都筑区ふれあい助成金の配分結果について ・地区社協分科会 年間予定について ・新型コロナウイルス感染防止の中での地区支援について	承認

9月8日(火) 10:00~11:50 (合同会議)	29名	<ul style="list-style-type: none"> 都筑区社協監事候補者の推薦について 令和2年度地区社協合同情報交換会について コロナ禍での地域活動の取り組み状況について 活動紹介 川和地区社協 荏田南地区社協 	承認
3月9日(火) (書面開催)		<ul style="list-style-type: none"> 任期満了に伴う、次期本会役員、評議員及び各種委員会委員の候補者の推薦について 令和3年度各種助成金・補助金(予定)について 令和3年度賛助会員について 令和3年度地区社協会議予定について 令和2年度「つづきあいフォーラム」について 	承認

ウ 自治会町内会分科会

日時	参加人数	主な議題	結果
4月21日(火) (中止)	15名	-	-
5月21日(木) (書面開催)		令和2年度赤十字社募金活動への協力について	承認
6月19日(金)		<ul style="list-style-type: none"> 都筑区社協賛助会員募集案内の周知について 更生保護協会費募集への協力依頼について 	承認
7月21日(火)		<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度共同募金運動・必要資材の調査及び共同募金運動のご説明について 「共同募金都筑区だより」の配布について 	承認
9月18日(金)		共同募金運動への協力依頼	承認
10月21日(水)		広報紙「しゅんらん」55号の回覧について	承認
2月19日(金) (書面開催)		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度共同募金運動への協力依頼について 令和2年度共同募金運動への協力依頼 	承認
3月19日(金)		令和3年度日本赤十字社会費募集運動用必要資材調査について	承認

※開催場所：都筑区役所 大会議室

エ ボランティア・市民活動等分科会

日時	参加人数	主な議題	結果
7月15日(水) 13:30~15:00	9名	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業計画について 第4期地域福祉保健計画について 	承認
9月16日(水) 13:30~15:30	9名	<ul style="list-style-type: none"> 第4期地域福祉保健計画について ボランティア交流会(第1回)企画 ボランティアサロン(第1回)企画 	承認

11月18日(水) 11:40~12:10	7名	・第4期地域福祉保健計画について ・ボランティア交流会(第1回)振返り	承認
3月1日(月) (書面開催)	14名	・令和3年度事業計画について ・役員改選について	承認

※5月と1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

障害福祉分科会

日 時	参加人数	主な議題	結果
3月 (書面開催)	11団体	・任期満了に伴う、次期本会役員、評議員及び各種委員会委員の候補者の推薦について	承認

(2) 委員会

ア ボランティアセンター運営委員会

再掲Ⅲ-1-(1) (7ページ) 参照

イ 都筑区ふれあい助成金配分委員会

日 時	参加人数	主な議題	結果
5月21日(木) (書面開催)	13名	・令和元年度つづきふれあい助成金配分結果報告 ・令和2年度都筑区ふれあい助成金の審査・決定	承認
2月18日(木) (書面開催)	9名	・令和2年度都筑区ふれあい助成金 実施状況 ・令和3年度都筑区ふれあい助成金 実施方針	承認

配分先は資料2 (37ページ) 参照

ウ 顕彰委員会

日 時	参加人数	主な議題	結果
10月29日(木) 10:00~12:00	5名	・顕彰候補者の審議	承認

3 会員の加入促進

会員種別	令和2年度末	令和元年度末	増減
第1種 公私社会福祉事業施設	40 団体	40 団体	0
第2種 民生委員児童委員	173 名	178 名	△5
第3種 地区社会福祉協議会	15 団体	15 団体	0
第4種 自治会町内会	15 団体	15 団体	0
第5種 障害者団体等当事者団体	43 団体	42 団体	1

第6種 ボランティア団体・市民活動団体等	14 団体	14 団体	0
第7種 その他社会福祉に係りのある団体	28 団体	28 団体	0
第8種 社会福祉関係行政機関	8 名	8 名	0
第9種 学識経験者	2 名	2 名	0
合計	155 団体・183 名	154 団体・188 名	△ 4

4 賛助会員の募集

社協活動の理解促進及び自主財源確保のため、各地区社協と協働し財政面で活動を支える賛助会員の募集を6～12月に行い、実績額の50%は地区社協活動費として地区社協に還元しました。また、令和元年度より実績の1%を事務費として還元しています。

会費年額 1口あたり個人1,000円、法人・団体5,000円

○実績総額 (単位:円)

	令和2年度	令和元年度
会費総額	5,909,670	6,462,254

○各地区別実績内訳(口数)

				地区名			
	個人	法人 団体	金額 (単位:円)		個人	法人 団体	金額 (単位:円)
東山田地区	852	19	961,000	佐江戸加賀原地区	188	12	273,000
山田地区	116	11	215,000	川和地区	—	7	627,050
中川地区	174	29	309,000	桂田南地区	319	19	417,300
勝田茅ヶ崎地区	316	37	603,000	渋沢地区	179	7	214,000
かちだ地区	382	6	404,000	茅ヶ崎南MGCRS地区	327	3	290,120
新栄早淵地区	195	1	273,000	ふれあいの丘地区	327	2	337,200
都田地区	411	8	484,000	その他(区外)	14	0	14,000
池辺地区	333	26	488,000	合計	4,133	187	5,909,670

5 コンプライアンス推進の取組

各種法令等に基づき、適正かつ効率的な事務処理を行うとともに、安定した財源確保に努めました。また、情報公開、個人情報保護、苦情解決等制度運用を通じて透明性の高い法人運営に努めました。

(1) 適正な法人運営

各種規定の整備や情報の公開等、適正な対応を行い、法改正の主旨・目的に沿った法人運営に努めました。

ア 経営組織のガバナンス強化

- ・定款や各種規定に基づき法人の運営を行いました。なお、評議員の選任・解任については、評議員選任・解任委員会を開設し選任しました。

イ 事業運営の透明性の向上

- ・財務諸表、現況報告書、定款等を窓口やインターネット上で公表しました。

ウ 財務規律の強化

- ・役員・評議員・各種委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する規程をインターネット等で公表しました。
- ・社会福祉充実残額について基準以下の額となったことから、社会福祉充実計画の作成及び実施は行いませんでした。

エ ワークライフバランスの推進

- ・働き方改革を踏まえ、日々、業務の見直しを進めながら事業を展開しました。あわせて有給休暇取得義務化を踏まえ、職員の休暇取得を促進しました。

(2) 感染症予防の徹底

コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受け、手指消毒や飛沫防止策の実施など各種対策を行うとともに、職員への特別休暇の付与や在宅勤務の推奨を通じて感染予防に努めました。

(3) 経理処理

会計システムやエレクトリックバンキング（銀行振込システム）を活用し、適正で安全な経理処理に努めました。また、現金管理については、規定に基づく管理を行いました。

(4) 各種マニュアル等の整備と運用

各種規程や規則に基づく法人運営を行うとともに、各種事務マニュアル等を整備・更新して業務を行いました。規則、要綱の改正を随時行い、最新データに更新しました。

(5) 苦情・事故対応

ア 苦情解決等の取組

ご意見箱の設置や苦情受付窓口を館内へ掲示するなどの取組を進め、市民や利用者が意見や要望を出しやすい環境づくりに努めました。

イ 事件・事故情報、ヒヤリハット等の共有

発生した事件・事故、事務処理ミスについては、全体での定期的な共有や原因分析・対策を行い、再発防止に努めました。

	件数	内容
ご意見箱	0件	窓口での受付対応について
苦情受付	0件	-
事件・事故	10件	送迎サービス事業（留守番電話の操作ミス） 福祉保健活動拠点運営（予約の重複） 生活福祉資金貸付事務（処理の遅延）等

6 地域福祉推進のための職員の育成

地域福祉の推進を担う社協職員の資質の向上を目指し、市社協人材育成計画及び人事考課制度に基づき、計画的な職員育成を行いました。また、職場内においては、全職員が地域支援を進めるための強化を図るために必要な知識、技術の研鑽に努めました。

(1) 事業促進・相互学習のためのミーティングの開催

業務別打ち合わせ、内部研修会等を通じ、各職員の担当業務についてスキルアップを図るとともに、事務局会議（毎月1回）や地域支援検討、ケースカンファレンスなどの機会を用いて、個別業務と地域支援を関連させ展開できるよう取り組みました。

(2) 関係機関との共催研修の開催

区役所や関係機関と地域支援を進めるためスキル向上を目的とした研修を実施しました。

○コーディネーター研修

開催日	テーマ	講師	参加者数
令和3年1月14日 (木)	コーディネーターと住民 主体の取り組み	汲沢地域ケアプラザ 生活支援コーディネーター 金子 裕利 氏	14名

○職員向け研修

開催日	テーマ	講師	参加者数
令和2年12月15日 (火)	データを活用した地域 アセスメント研修	横浜市政策局政策課 データ活用推進等 担当係長 林 正貴氏	22名

(3) 外部研修への参加

市社協や関係機関等が主催する研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。

VI. その他の事業

1 共同募金・年末たすけあい募金への協力

社会福祉団体の活動、住民参加型の地域たすけあい活動への援助等を目的に、自治会町内会や民生委員児童委員等にご協力いただき、戸別募金や街頭募金などの募金活動を行いました。
(* 県共同募金会横浜市都筑区支会に協力)

2 生活福祉資金の貸付・援護事業

県社協受託金 15,335千円 [3,126千円]

低所得者や障害者世帯などの要援護世帯、及び離職者に対し、経済的自立と生活意欲の向上を図るため資金貸付を行なうとともに、必要な相談支援を行いました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年末から対応を始めた「生活福祉資金特例貸付」の受付事務のため、全職員による受付体制を設けて対応しました。

(1) 生活福祉資金の貸付

生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、一時的な資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

ア 貸付相談件数 10,539件 (令和元年度: 2,387件) (単位: 数)

資金名	件数	資金名	件数
生活福祉資金	1,591	緊急小口資金(特例)・ 総合支援資金(特例)	6,815
緊急小口資金	1,325		
総合支援資金	790		
臨時特例つなぎ資金	0		
不動産担保型生活資金(要保護含む)	18		

イ 生活福祉資金特例貸付受付件数 2,497件

資 金 名	件数
緊急小口資金	902
総合支援資金	859
総合延長資金	506
総合再貸付資金	230

ウ 貸付決定件数：47件、貸付額：20,500,000円(特例貸付を除く)

(令和元年度：51件、貸付額：21,911,385円)

資 金 名	決定件数	貸付決定額 (円)
生活福祉資金 (福祉費)	4	4,771,000
生活福祉資金 (教育支援費)	24	10,551,000
生活福祉資金 (就学支度費)	19	5,178,000
緊急小口資金	0	0
不動産担保型生活資金 (要保護世帯向け含む)	0	0
総合支援資金 (生活支援費)	0	0
総合支援資金 (住宅入居費)	0	0
総合支援資金 (一時生活再建費)	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合 計	47	20,500,000

(2) 災害見舞金の給付

・見舞金給付対象となる事故・事件はありませんでした。

(3) 交通遺児援護金

・援護金支給対象となる事故・事件はありませんでした。

(4) 低所得者法外援護費事業

区役所と連携して行旅病人等に対し緊急時等における交通費を支給しました。

・1,800円

(5) 年末たすけあい配分金 (再掲)

3 各種福祉関係団体事務局の運営

団体名	趣旨	主な活動内容
日本赤十字社 神奈川県支部横浜市 地区本部都筑区地区 委員会	博愛と人道の精神を基 本に、募金活動(会費募 集)や諸事業を実施	(1) 赤十字募金募集 総額：6,933,984 円 ・募集期間 6～7月(自治会町内会へ依頼) (2) 諸事業 ・小災害見舞金品の交付 件数 0件 ・区民まつり等におけるPR活動 内容:冊子・チラシ等の配布 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
神奈川県共同募金会 横浜市都筑区支会	共同募金運動を通じ て、幸せを分かち合う 心を基盤に福祉の向上 を推進	(1) 赤い羽根共同募金 募金額：8,335,299 円 ・募集期間 10月～12月 戸別募金/自治会町内会を通じ協力を依頼 街頭募金/50回(地区民児協、障害者施 設、ボランティアグループ等) 法人募金/15法人 職域募金/10法人・企業 学校募金/区内小中学校3校 イベント募金・その他/62か所
		(2) 年末たすけあい募金 募金額：7,627,262 円 ・募集期間 12月 戸別募金/自治会町内会を通じ協力を依頼 街頭募金/1件 その他募金/預金利息 募金額合計(1)+(2)：15,962,561 円
都筑区 更生保護協会	犯罪の予防・更生保護 事業の充実発展のた め、賛助金の募集 更生保護思想の普及・ 社明運動の広報啓発	(1) 更生保護団体の諸活動への支援 (2) 賛助金 募金額：959,040 円 募集期間 7月～8月 (自治会町内会へ依頼) (3) 啓発講演会、各地域でのミニ集会、街頭宣 伝活動等の実施(都筑区社会を明るくする 運動実行委員会) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
都筑保護司会	犯罪の防止と、罪を犯 してしまった人の更生 の手助けをするなどの 活動	(1) 研修会開催、保護司間の情報交換 (2) 薬物乱用防止啓発活動への参加協力 (3) 対象者支援活動 (4) 現員数/29名 ※各種研修会や社明運動は、コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
都筑区 更生保護女性会	同上の趣旨で、女性と しての立場で活動を行 う	(1) 宣伝・啓発・推進活動 (2) 施設入所者への寄付 (3) 会員数/185名 ※各種研修会や社明運動は、コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
都筑区 戦没者遺族会	会員相互の福祉の増 進、公德心の高揚、 世界平和への貢献	(1) 理事会の開催/全3回 (2) 戦没者追悼式の開催 ※コロナウイルス感染拡大防止により中止 (3) 全国・市の慰霊事業等への参加 (4) 会員数/171名

参考資料

- 資料 1 都筑区善意銀行寄託金品配分状況
- 資料 2 都筑区ふれあい助成金配分団体
- 資料 3 年末たすけあい募金事業助成配分団体
- 資料 4 地区社協運営費及び地区社協活動費助成一覧
- 資料 5 つづき あい基金配分団体

(2)物品

ア 寄付(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

NO	年月日	寄付者・団体	寄付物品	希望先
1	4月14日	(株)運動会屋	マスク 1000枚	高齢者福祉
2	4月28日	齋藤 健一	マスク 500枚	社会福祉一般
3	4月30日	匿名(個人)	マスク(手作り) 97枚	社会福祉一般
4	5月7日	岸 操	マスク 153枚	社会福祉一般
5	5月8日	メイドインつづき参加企業有志・NPO法人こども応援ネットワーク	マスク(手作り)300枚	社会福祉一般
6	5月18日	小野 義貴	マスク(N95)31枚	社会福祉一般
7	5月20日	齋藤 健一	消毒用ハンドジェル 10本	都筑区社協
8	5月20日	都筑保護司会	ライフビスケット 400個	社会福祉一般
9	5月20日	都筑区更生保護女性会	乾麺(うどん・干し平麺) 64袋	都筑区社協
10	6月2日 6月8日	高松 健三	乾麺(ラーメン) 26袋 米 5kg	都筑区社協
11	6月30日	Y&I Group株式会社 代表取締役 高橋悠太	マスク 17万枚	社会福祉一般
12	8月12日	匿名(個人)	テレビ(32型)1台	社会福祉一般
13	8月26日	第一生命(株)新横浜支社 中山ブロック	エタノール500ml×30本 除菌シート50パック	社会福祉一般
14	10月14日	アムスキャン・ジャパン F&C株式会社	ハロウィンパーティーセット 72セット	社会福祉一般
15	12月3日	久保岡 愛	お米 約20キロ	社会福祉一般

16	12月23日	匿名(個人)	お米10キロ・お菓子	社会福祉一般
17	1月21日	イケア・ジャパン(株) IKEA港北	カップラーメン861個	社会福祉一般
18	2月10日	鍼灸マッサージ おおはし整骨院	マスク1500枚 アルコール含浸綿900枚	社会福祉一般
19	3月2日	ボッシュ(株)横浜第二事務所	乾パン 24缶×10箱	社会福祉一般

イ 配分

NO	配分先	配分物品
1	中川の里	マスク 83枚
2	都筑の里	マスク 83枚
3	特別養護老人ホームハピネス都筑	マスク 83枚
4	介護老人保健施設ハートフルステーション	マスク 83枚
5	都筑シニアセンター	マスク 83枚
6	横浜茅ヶ崎老人保健施設	マスク 83枚
7	医療法人社団 若葉会	マスク 83枚
8	介護老人保健施設 ヒルトップ池辺	マスク 83枚
9	荏田介護老人保健施設あすなろ	マスク 83枚
10	介護老人福祉施設 池辺	マスク 83枚
11	介護老人保健施設ソフィア都筑	マスク 83枚
12	グループホーム和が家	マスク 83枚
13	ハイツ都筑	マスク 50枚
14	グループホーム ハーモニー	マスク 50枚
15	グループホーム ポマト	マスク 50枚
16	ビオ茅ヶ崎	マスク 50枚
17	グループホーム ブルーベリー	マスク 50枚
18	グループホームぽけっと	マスク 50枚
19	折本あさひ	マスク 50枚
20	生活ホームエルファーク	マスク 50枚
21	東山田レジデンス	マスク 100枚
22	医療法人社団 若葉会	マスク(N95) 31枚
23	都筑区社会福祉協議会(かけはし都筑運営事業)	消毒用ハンドジェル 10本、マスク50枚
24	都筑区社会福祉協議会(食支援事業)	乾麺(うどん64袋)、乾麺(ラーメン26袋)
25	都筑地域活動ホームくさぶえ	ライフビスケット200個、マスク(手作り)70枚
26	キッズフォレつづき	ライフビスケット100個
27	東山田地域ケアプラザ	ライフビスケット 20個
28	横浜市葛が谷地域ケアプラザ	ライフビスケット 20個
29	横浜市加賀原地域ケアプラザ	ライフビスケット 20個
30	横浜市新栄地域ケアプラザ	ライフビスケット 20個
31	横浜市中川地域ケアプラザ	ライフビスケット 20個
32	すくすく保育園	マスク(手作り)70枚、不織布51枚
33	第2しらとり台保育園	マスク(手作り)70枚・(手作り 小)45枚、不織布51枚
34	都筑ハーベスト	マスク(手作り)70枚
35	都筑ピネル	マスク(手作り)70枚
36	池辺保育園	マスク 51枚
37	東やまた工房	マスク 4,000 枚
38	東やまたレジデンス(まろんワークスから申し込み)	マスク 4,000 枚
39	横浜市北部地域療育センター	マスク 2,000 枚
40	東山田地域ケアプラザ	マスク 2,000 枚
41	横浜市葛が谷地域ケアプラザ	マスク 2,000 枚

42	横浜市新栄地域ケアプラザ	マスク	6,000 枚
43	中川の里	マスク	2,000 枚
44	都筑の里	マスク	6,000 枚
45	特別養護老人ホーム ハートフルガーデン川和	マスク	4,000 枚
46	特別養護老人ホーム ハピネス都筑	マスク	4,000 枚
47	介護老人保健施設 都筑ハートフルステーション	マスク	2,000 枚
48	横浜茅ヶ崎老人保健施設	マスク	3,000 枚
49	介護老人保健施設若葉が丘	マスク	20,000 枚
50	介護老人保健施設ヒルトップ池辺	マスク	4,000 枚
51	介護老人福祉施設池辺	マスク	20,000 枚
52	中川保育園	マスク	2,000 枚
53	池辺保育園	マスク	5,000 枚
54	第2しらとり台保育園	マスク	2,000 枚
55	つづき保育園	マスク	3,000 枚
56	ナーサリーつづき	マスク	6,000 枚
57	すくすく保育園	マスク	4,000 枚
58	認定こども園エクレス	マスク	6,000 枚
59	マーマセンター北保育園	マスク	1,000 枚
60	リンク	マスク	1,000 枚
61	(特非)かもめ福祉工房	マスク	1,000 枚
62	地域活動支援センター 都筑ピネル	マスク	2,000 枚
63	地域活動支援センター アスタPC	マスク	2,000 枚
64	レアリゼつづき	マスク	6,000 枚
65	中途障害者地域活動センター 都筑むつみ会	マスク	2,000 枚
66	(特非)アスタ荏田	マスク	2,000 枚
67	クラブハウスすてっぷなな	マスク	1,000 枚
68	就労継続支援B型 都筑ハーベスト	マスク	4,000 枚
69	(特非)栄光会 地域作業所Ensemble(あんさんぶる)	マスク	1,000 枚
70	ごぼうハウス都筑	マスク	2,000 枚
71	グループホーム グリーンフォレスト ハーモニー	マスク	2,000 枚
72	グループホーム テラ都筑	マスク	1,000 枚
73	ビオ茅ヶ崎	マスク	1,000 枚
74	グループホーム グリーンフォレスト ブルーベリー	マスク	1,000 枚
75	(特非)ウエルウエルネット	マスク	6,000 枚
76	地域作業所 カプカプ川和	マスク	1,000 枚
77	NPO法人アルカヌエバ 生活ホーム エルファーロ	マスク	2,000 枚
78	(特非)みんなの家	マスク	4,000 枚
79	グループホーム和が家	マスク	2,000 枚
80	(NPO)りんぐりんく	マスク	2,000 枚
81	東山田地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
82	山田地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
83	中川地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
84	勝田茅ヶ崎地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
85	勝田団地地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
86	都田地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
87	池辺地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
88	佐江戸・加賀原地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
89	川和地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
90	都筑荏田地区民生委員児童委員協議会	マスク	150 枚
91	東山田地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
92	山田地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
93	中川地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
94	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
95	かちだ地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
96	新栄早淵地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
97	都田地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
98	池辺地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
99	佐江戸・加賀原地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
100	川和地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
101	荏田南地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
102	渋沢地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
103	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	マスク	150 枚

104	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
105	柚木荇田南地区社会福祉協議会	マスク	150 枚
106	東山田連合町内会	マスク	300 枚
107	山田連合町内会	マスク	300 枚
108	中川連合町内会	マスク	300 枚
109	勝田茅ヶ崎地区連合町内会	マスク	300 枚
110	かちだ連合自治会	マスク	300 枚
111	新栄早淵連合町内会	マスク	300 枚
112	都田連合町内会	マスク	300 枚
113	池辺町連合自治会	マスク	300 枚
114	佐江戸加賀原地区連合自治会	マスク	300 枚
115	川和地区連合町内会	マスク	300 枚
116	荇田南連合自治会	マスク	300 枚
117	渋沢連合自治会	マスク	300 枚
118	茅ヶ崎南MGCRS連合自治会	マスク	300 枚
119	ふれあいの丘連合自治会	マスク	300 枚
120	柚木荇田南連合自治会	マスク	300 枚
121	ボランティアグループ 華の会	マスク	150 枚
122	ゆうあい昼食会	マスク	150 枚
123	たけのこ会	マスク	150 枚
124	ボランティアはまゆう	マスク	150 枚
125	横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ	マスク	150 枚
126	さわらび会	マスク	150 枚
127	シンフォニックサロンの会	マスク	150 枚
128	都筑区災害ボランティアネットワーク	マスク	150 枚
129	学ぼう会	マスク	150 枚
130	サロン・よりみち	マスク	150 枚
131	ボランティアグループいっしょ	マスク	150 枚
132	特別養護老人ホーム ハートフルガーデン川和	テレビ(32型)1台	
133	東山田地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
134	山田地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート4パック	
135	中川地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート4パック	
136	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート4パック	
137	かちだ地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
138	新栄早淵地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
139	都田地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート4パック	
140	池辺地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
141	佐江戸・加賀原地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
142	川和地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート4パック	
143	荇田南地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
144	渋沢地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
145	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
146	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
147	柚木荇田南地区社会福祉協議会	消毒用エタノール 2本、除菌シート3パック	
148	東山田地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
149	山田地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
150	中川地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
151	勝田茅ヶ崎地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
152	勝田団地地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
153	都田地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
154	池辺地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
155	佐江戸・加賀原地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
156	川和地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
157	都筑荇田地区民生委員児童委員協議会	ハロウィンパーティセット 6セット	
158	学ぼう会	ハロウィンパーティセット 8セット	
159	おはよう食堂	ハロウィンパーティセット 4セット	
160	都筑区社会福祉協議会 食支援事業	米30キロ、菓子	
161	川和児童家庭支援センター	カップラーメン 12個×2ケース	
162	学ぼう会	カップラーメン 12個×10ケース	
163	インフィニティスクール	カップラーメン 12個×16ケース+4個	
164	アーモンドコミュニティネットワーク	カップラーメン 12個×2ケース	
165	おはよう食堂	カップラーメン 12個×2ケース	

166	キッズフォレつづき	カップラーメン 12個×39ケース+5個
167	東山田地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
168	山田地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
169	中川地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
170	勝田茅ヶ崎地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
171	勝田団地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
172	都田地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
173	池辺地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
174	佐江戸・加賀原地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
175	川和地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
176	都筑荏田地区民生委員児童委員協議会	マスク300枚、アルコール含浸綿90枚
177	インフィニティスクール	乾パン 132缶
178	学ぼう会	乾パン 48缶
179	東山田地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
180	山田地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
181	中川地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
182	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
183	かちだ地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
184	新栄早淵地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
185	都田地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
186	池辺地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
187	佐江戸・加賀原地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
188	川和地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
189	荏田南地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
190	洪沢地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
191	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
192	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	乾パン 4缶
193	柚木荏田南地区社会福祉協議会	乾パン 4缶

令和2年度 都筑区ふれあい助成金 配分団体

NO	助成区分	団体名	事業名	助成額
1	A①	学ぼう会	若者支援（学習支援）	120,000
2	A①	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ円	リフレッシュサロン♥心葉	300,000
3	A①	憩いの場	高齢者含む多世代の居場所提供	160,000
4	A①	なかなか会	なかなかサロン	50,000
5	A①	チョコ村○△□ ～みんなでつくるみんなの居場所～	地域のスペース開放	80,000
6	A①	ボランティアふきのとう	昼食会	120,000
7	A①	ゆうゆう東山田	ミニデイサービス	120,000
8	A①	港北ガーデンヒルズ シルバーサロン	サロン・茶話会	120,000
9	A①	ネットカフェかがはら	憩いのカフェ	120,000
10	A①	NPO法人 みんなの家	みんなの家余暇支援サロン	120,000
11	A①	傾聴ボランティアグループYou&Me	傾聴サロン・茶話会	120,000
12	A①	陽だまり会	高齢者の集いの場	90,000
13	A①	ワンステップサークル	ワンステップサークル	80,000
14	A①	サークルきずな	カフェえんがわ	120,000
15	A①	山田地区 ふれあい昼食会	昼食会	120,000
16	A①	ゆうあい昼食会	昼食会	80,000
17	A①	渋沢ふれあい会	会食会（配食も含む）	80,000
18	A①	ふれあい昼食会	一人暮らしの高齢者昼食会	80,000
19	A①	おしゃべりサロン	高齢者サロン	80,000
20	A①	シンフォニックサロンの会	介護予防サロン	80,000
21	A①	荏田南地区ほほえみ交流カフェ運営グループ	認知症&予防カフェ	80,000
22	A①	認知症&予防カフェ「コツコツ」	認知症カフェ運営	80,000
23	A①	さわやかカフェハーモニー	認知症カフェ	80,000
24	A①	リスの会	リハビリ教室	80,000
25	A①	シニア福祉委員会	ファミリーカフェ	80,000
26	A①	ふれあい大柵認知症 予防カフェ運営委員会	ふれあい大柵カフェ	80,000
27	A①	2丁目スマイルカフェ	カフェ	80,000
28	A①	カフェこすも（越百）	カフェこすも（越百）	70,000

29	A①	子育てカフェ りんご	子育てカフェ	80,000
30	A①	かあさんぼ	かあさんぼ	80,000
31	A①	はぐはぐ	子育てサロン	50,000
32	A①	元気アップ応援クラブ	歌声&エクササイズ	80,000
33	A①	夕焼け空の歌の会	若年性認知症者と家族の歌の会	50,000
34	A①	あそびの広場 公園で遊ぼう	公園あそび	50,000
A①区分34件 計				3,260,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	A②	ちょこっと子育てレスキュー隊	子どもの一時預かり	300,000
2	A②	ふれあいの丘ほっとボランティアの会	生活支援ボランティア	80,000
3	A②	グループすこやか	障がい者を含む一時保育、障害者・高齢者福祉支援	160,000
4	A②	おたがいさま会	おたがいさま会	70,000
5	A②	ささえ愛つづき	傾聴活動	160,000
6	A②	佐江戸加賀原ちょこっとボランティア	ちょこっとボランティア	80,000
7	A②	グッドネイバーズ倶楽部おたがいさまの会	日常生活支援（おたがいさまの会）	50,000
A②区分7件 計				900,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	B①	くるみクラブ	余暇活動（障がい者スポーツ）	400,000
2	B①	WAKU2ミュージカルカンパニー	余暇活動	120,000
3	B①	つづき言語会	音楽療法	120,000
4	B①	くじらスイミングクラブ	障害児・者の水泳訓練と余暇活動	80,000
5	B①	NPO法人スペースシップ2009	障害者の余暇活動	100,000
6	B①	HPKA(ハピカ) 北部ピアの会	精神保健サロン	80,000
7	B①	それいゆ	障害児・者の理容サロンと交流サロンサポート事業	80,000
8	B①	キラキラクラブ	歌の練習	80,000
9	B①	ペンギンクラブ	テニス・余暇活動・勉強会	80,000
10	B①	きりんの親子	音楽療法	80,000
11	B①	みんなと	フリースペース	65,000
12	B①	たんぼぼ	肢体不自由者の機能回復と研修	80,000
13	B①	なないろパーカッションアンサンブル	余暇支援活動	60,000
B①区分13件 計				1,425,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	B②	みどりエアースhip	日帰り外出レク (ますつかみとBBQ)	50,000
2	B②	みどりの会	宿泊、ハイク活動	50,000
3	B②	聴覚障がい者を守る会	日帰りバスハイク	50,000
B②区分3件 計				150,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	B③	つづき音声訳グループ あかり	視覚障害者支援(音声訳)	50,000
2	B③	手話ひよこクラブ	手話サークル	50,000
3	B③	手話たけのこクラブ	手話サークル	50,000
B③区分3件 計				150,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	C	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク	親子オーガニック大豆・味噌づくり ワークショップ	40,000
2	C	センター北キッズファーム管理運営委員会	センター北キッズファーム「畑の日」	40,000
3	C	えだみなみの歌声	地域住民交流	40,000
4	C	nicoつと	障害児ママヨガ	40,000
5	C	クリ活! Creative activities for Disabilities	パラスポーツ体験会	40,000
6	C	おはなしネットワーク かたらんらん	おはなし会	30,000
7	C	グループつづき	子育て支援(保育ボランティア)	40,000
8	C	和ぎ	障害者サロン・ボッチャ交流	40,000
9	C	チャルラス都筑	多文化を楽しめる地域づくり	30,000
10	C	港北センタープレイス 学援隊	学童の登下校見守り	40,000
11	C	つづきっこまつり運営委員会	つづきっこまつり	30,000
12	C	TAMおやこのひろば	造形ワークショップ	30,000
13	C	つづき国際交流カフェ実行委員会	第18回つづき国際交流café	30,000
14	C	特定非営利活動法人 アスタ荏田	親子パン教室	30,000
15	C	NPO法人 都筑民家園管理運営委員会	手作りおもちゃ講座と遊び	30,000
16	C	ふれあいの丘地区民生児童委員 あいテラス	高齢者おたのしみ会、食事会	30,000
17	C	NPO法人H&K [ハッピーラボ]	親子のお悩み茶話会	30,000

18	C	中川西小おやじの会	小学校及び地域ボランティアサポート	40,000
19	C	子ども昔あそび支援クラブ	子ども昔あそび	10,000
			C区分19件 計	640,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	D	都筑ポールウォーキング振興会	ポールウォーキング	10,000
2	D	南山田町内会吹矢クラブ	スポーツ吹矢教室	10,000
3	D	飛び出せ園バス隊	人形劇の出張講演	10,000
4	D	FP歩こう会	散策による健康増進	10,000
			D区分4件 計	40,000

NO	助成区分	団体名	事業名	実助成額
1	立上げ(A①)	ふれんど♡らぶ	こども食堂	40,000
			立上げ区分1件 計	40,000

合計	84団体	6,605,000
----	------	-----------

(1) 見守り活動助成 (地区社協配分)

No	種別	団体名	事業内容	助成額
1	地区社会福祉協議会	東山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	140,000
2	地区社会福祉協議会	山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
3	地区社会福祉協議会	中川地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	72,000
4	地区社会福祉協議会	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	100,000
5	地区社会福祉協議会	かちだ地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
6	地区社会福祉協議会	新栄早淵地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	60,000
7	地区社会福祉協議会	都田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	0
8	地区社会福祉協議会	池辺地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	105,000
9	地区社会福祉協議会	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、物品購入、人材育成	210,000
10	地区社会福祉協議会	川和地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
11	地区社会福祉協議会	荏田南地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
12	地区社会福祉協議会	渋沢地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
13	地区社会福祉協議会	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	150,000
14	地区社会福祉協議会	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
15	地区社会福祉協議会	柚木荏田南地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
合計				1,627,000

(2) 事業助成（団体配分）

No	種別	団体名	事業名	助成額
1	福祉活動団体 (地域団体)	北山田健康体操	交流会	19,000
2	障害	それいゆ	クリスマス会	22,000
3	福祉活動団体 (地域団体)	都筑区子ども会育成連絡協議会	子ども展	50,000
4	ボランティア	ボランティア ふきのとう	クリスマス会	30,000
5	障害	バナナのおうち	クリスマス会	20,000
6	障害	NPO法人 スペースシップ2009	オンラインダンス発表会	10,000
7	障害	くるみくらぶ	お楽しみ会	50,000
8	障害	あおぞら会	親睦会	4,986
9	障害	都筑区障害者児者親の会	親睦会・バスハイク	10,488
10	福祉活動団体 (地域団体)	NPO法人アーモンドコミュニティ ネットワーク	研修会	50,000
11	地域活動団体 (地域活動支援センター)	特定非営利活動法人 都筑むつみ会	お楽しみ会	20,000
12	障害	就労継続支援B型作業所 都筑ハーベスト	味噌づくり交流会	50,000
13	障害	NPO法人 アスタ荏田	新春ワークショップと交流会	50,000
			合計	386,474

令和2年度 地区社協運営費及び地区社協活動費助成一覧

資料4

No	団体名	地区社協運営費 (市社協財源)	地区社協活動費 (世帯割)	地区社協活動費 (事業割)
1	東山田地区社会福祉協議会	50,000	110,000	50,000
2	山田地区社会福祉協議会	50,000	170,000	90,000
3	中川地区社会福祉協議会	50,000	170,000	70,000
4	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	50,000	170,000	60,000
5	かちだ地区社会福祉協議会	50,000	130,000	55,000
6	新栄早渕地区社会福祉協議会	50,000	90,000	90,000
7	都田地区社会福祉協議会	50,000	150,000	0
8	池辺地区社会福祉協議会	50,000	110,000	75,000
9	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	50,000	110,000	80,000
10	川和地区社会福祉協議会	50,000	110,000	100,000
11	荇田南地区社会福祉協議会	50,000	90,000	70,000
12	渋沢地区社会福祉協議会	50,000	90,000	55,000
13	茅ヶ崎南MGCRS地区 社会福祉協議会	50,000	70,000	65,000
14	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	50,000	110,000	0
15	柚木荇田南地区社会福祉協議会	50,000	0	0
	合計	750,000	1,680,000	860,000

令和2年度「つづき あい基金」助成金 配分団体

資料5

No	活動団体	活動名	内容	助成金額 (単位：円)
1	大正琴と歌唱教室	大正琴と歌唱教室	地域の多様なつながりによる住民相互の助け合いや高齢者の健康増進を目標に楽器演奏とボイストレーニングを実施した。(地区別計画:茅ヶ崎南MGCRS地区)	50,000
2	健幸ラジオ体操会	健幸ラジオ体操	毎朝、ラジオ体操の第1、第2、みんなの体操を実施した。活動により参加者の健康維持に役立ったとともに、参加者同士の声かけ、近隣小学校の通学時の声かけを行う機会となった。(地区別計画:かちだ地区)	20,000
3	ふれあいの丘地区防犯・地域元気づくり協議会	ふれあいの丘駅周辺防犯パトロール	青少年の育成や地域課題の共有を目的に毎月一回、地区内の各個人・団体・法人等の様々な主体が連携し、パトロールを行った。(地区別計画:ふれあいの丘地区)	50,000
4	ふれあいの丘地区防犯・地域元気づくり協議会	ふれあいウォーキング	広く参加者を募集し、毎月第3火曜日に都筑区内のウォークキングを行った。季節に合わせたコースを選定するとともに、安全面に配慮し開催した。(地区別計画:ふれあいの丘地区)	50,000
5	荇田南どんぐりカフェ	認知症の人が安心して暮らせる町づくり	高齢者・障害者が安心して暮らせるよう、日常の困りごとに対して地域助け合い活動を実施した。(地区別計画:都田・荇田南・渋沢・ふれあいの丘・柚木荇田南地区(葛が谷地域ケアプラザ担当エリア))	25,000
6	ファミリーカフェ	サポーター養成講座と認知症&予防カフェ	認知症サポーター養成講座を開き、サポーターを増やし、認知症予防カフェとして様々な方が気軽に立ち寄れる居場所を毎月開催した。(区計画)	50,000
7	バランス講座	健康体操・認知症予防体操	月1回開催し、体操により筋力をつけることや参加者間のふれあいを通じて、認知症予防、転倒予防を推進した。(地区別計画:池辺地区)	30,000
8	若返り体操サークル	若返り体操サークル	高齢に伴う柔軟性の低下・筋力低下による転倒や要介護状態を予防するため、運動を月2回、実施した。(地区別計画:都田地区)	50,000
9	特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	アーモンドこども食堂	配慮を必要とする子ども青少年や家庭の支援として、子どもと青少年が無料で利用でき、孤立しがちな親も参加できる「こども食堂」を毎月1回第2土曜日に開催した。(区計画)	50,000
合計				375,000